<底質状況、底生生物出現状況>

東京都内湾水生生物調査

地点名 多摩川河口干潟 調査年月日 令和4年8月24日 8:30~9:44

<調査地点>

東京国際空港 多摩川河口干潟 東京国際空港



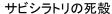
多摩川左岸側(東京都側)の海老取川河口付近の干潟で調査を行った。

※写真のスケール 1 目盛: 1mm

今回、水底付近は貧酸素状態にあった(貧酸素状態: 2.0mg/L 以下とした)。



貝殻や植物片などの夾 雑物が交じる。







底質は細かい砂の混じった固めの 泥であった。



干潟に降り、小型の採泥器を用いて 底泥を採取する。



干潟でよくみられるカニ。甲幅 4cm程度になり、柔らかく水分の多い泥干潟に斜めの穴を掘って巣穴を作る。巣穴の入り口には放射状の浅い溝ができる。



「ヒモムシ」と称される動物群。文字通り紐状で、とてもちぎれやすい。肉食性で、生きた多毛類などを体内に収納している吻を伸ばして捕食する。



殻長 4cm 程度になる。汽水域の砂底から泥底に生息するが、河口域にいるものは出水等の影響を受けやすい。



干潟にミズクラゲが取り残されていた。東京湾では最も普通にみられるクラゲで、傘の大きさが 20cm程度になる。体の大部分が水分でできている。

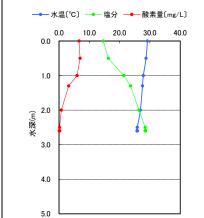
【調査対象外】

東京都内湾水生生物調査

地点名 森ヶ崎の鼻 調査年月日 令和 4 年 8 月 24 日 9:58~10:50 〈底質状況、底生生物出現状況〉 ※写真のスケール 1 目盛:1mm

<調査地点>

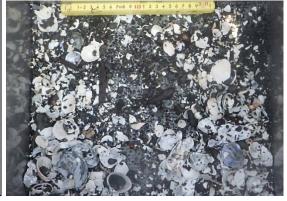






羽田空港の北側に残さ れた干潟。干潮時でも周 りは「海」に取り囲まれて いるため、岸から歩いて 入ることはできない。 今回、水深2m以深は貧 酸素状態にあった(貧酸

素状態: 2.0mg/L 以下と した)。



ふるい上には様々な種 類の貝殻片が多数残っ た。



底質は固めの砂であった。



砂泥干潟や浅瀬の海底に潜り、水 引に見立てられる細い糸のような鰓 と触手を水中に伸ばしていることが 多い。かなり汚れた環境でも生息し れている。 ている。



全国の干潟に生息する。カワゴカイ 属は、かつて「ゴカイ」と呼ばれてい た種類である。今は3種類に分けら



殻長 2cm 程のものが多く、干潟から 水深 10m の砂泥底に生息する。群 生し、足糸を絡ませて、泥の表面を マット状に覆うため、他の生物が窒 息するなど害を与える。写真の個体 は足を出して活発に移動していた。



体長 1cm 程度の小型の節足動物。 干潟で石を持ち上げてみると、石の 裏側を体を横にしてはい回る姿をみ ることができる。



調査地点付近で貝の死殻を発見 した。生物にとってはこういった貝 殻も格好の棲み処となる。この貝 殻ではフジツボ類やカワゴカイ属 などを確認した。

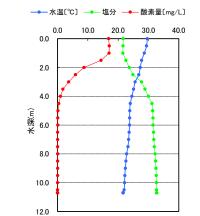
【調査対象外】

東京都内湾水生生物調査

地点名 St.6 調査年月日 令和 4 年 8 月 24 日 11:15~12:13 〈底質状況、底生生物出現状況〉 ※写真のスケール 1 目盛: 1mm

<調査地点>







ルの正面で採泥を行っ た。航路であるため、水 深は 11.7m と深い。 水深 1.5m を過ぎたあた りから急激に酸素量が減 り、3.5 m 以深では貧酸 素状態にあった(貧酸素 状態: 2.0mg/L 以下とし た)。

東京港フェリーターミナ

ふるい上には貝殻片が 残った。

今回、本地点で生体は 確認されなかった。





底質の性状はシルトで、クリーム状 でとても柔らかく、硫化水素臭(腐卵 臭)がした。



半透明の薄く壊れやすい殻を持つ小 型の二枚貝。貧酸素耐性があり、無 酸素状態でも水温 25℃であれば1 日間生存できる。有機汚濁の指標種 い。 の一つとされている。



内湾の泥底に生息する。殼は非常に 薄いため、もろく壊れやすい。シズク ガイと同所的に出現することが多



内湾の潮下帯の砂泥底に生息する 二枚貝で、生時は光沢が有り美しい 網目模様の殻を持つ。



水深 5 m 以深の泥底に生息する小 型の巻貝。厚く光沢のある殻を持 つ。



ゴカイの仲間であるウミイサゴムシ 科の棲管。砂粒を集めて円筒状の管 を作り、そこに潜む。

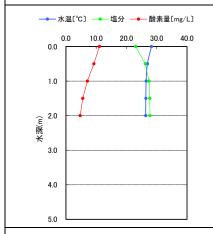
東京都内湾水生生物調査

地点名 三枚洲(荒川河口) 調査年月日 令和 4 年 8 月 24 日 12:32~13:28

<底質状況、底生生物出現状況>

<調査地点>

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10





荒川と旧江戸川の河口に残された天然の浅場。 調査時の水深は 2.5m であった。 すぐ横は東京ディズニー

※写真のスケール 1 目盛: 1mm

すぐ横は東京ディズニー リゾートである。



ふるい上には目立った夾 雑物は残らなかった。



底質は細砂であった。前回、今回と 細砂主体の性状が続いており、令和 元年度の台風による出水以前の性 状まで回復してきていると考えられ る。



殻長 4cm 程になる。潮干狩りなどで盛んに獲られている代表的な二枚貝。東京湾のものは形が細く、模様のコントラストが強いものが多い。



成長すると殻長 10cm を超える外来 種。貧酸素環境に耐性を持ち、現在 では東京湾を代表する二枚貝となっ ている。貧酸素環境では硫化物によ り殻が黒ずむ。



日本では800種類以上が知られ、生活様式も食性も多様な生物。また、多毛類はたくさんの生物の餌となっている。肉眼での識別が難しいため、多毛類(多毛綱)とした。



詳細は多摩川河口干潟を参照。



殻長 7cm 程になる。採取された個体 は稚貝。殻は白色で殻質はやや厚 い。内湾の干潟から水深20mの砂泥 底にやや深く潜って生活する。

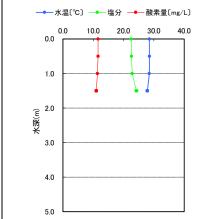
東京都内湾水生生物調査

地点名 St.31(多摩川河口) 調査年月日 令和 4 年 8 月 24 日 14:15~15:17

〈底質状況、底生生物出現状況〉

<調査地点>









多摩川河口から1.5km付近の浅場で調査を行った

※写真のスケール 1 目盛: 1mm

水深が 1.6m と深いた め、船上から採泥した。

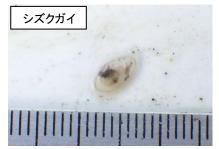
ふるいには貝殻片が少 量残った。



底質は細砂であった。



詳細は三枚洲を参照。 本地点では 44 個体を確認した。三 枚洲や多摩川河口域周辺は、アサリ の生息場所となっており、東京湾に おける幼生の供給源となっている (粕谷 2005)*。



詳細は St. 6 を参照。 本地点では生体が採取された。



大きなものでは 10cm 以上になる縦長の二枚貝。砂底に縦穴を掘って潜るが、急激な塩分の変化などの刺激を受けると巣穴から飛び出す。また生活環境が良くないと移動する。



設高 15mm 程になる。 殻の表面には 粗い粒状突起が並ぶ。 干潟から水 深 3m の砂泥底に生息する。 魚や貝 の死骸を食べる性質があり、「海の 掃除屋」と呼ばれている。



詳細は多摩川河口干潟を参照。